

令和2年度 第3学年修学旅行の中止について

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大の中、実施の可否を検討してきました修学旅行（宿泊行事）は、群馬県における警戒度が2であることと、全国的にも感染者が出続けている現状を踏まえた結果、下記の経緯と判断によりやむをえず中止とさせていただきます。

生徒の心情を察するに余りありますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

記

《修学旅行の実施について検討してきた経緯》

生徒にとって修学旅行は、中学校時代の大切な思い出づくりとして心から楽しみにしている行事であり、本校としても何とか実施したいと考えました。そこで、昨年度末に当時のPTA学年委員の方々とも相談し、当初6月に予定していた修学旅行を10月3日～5日に延期しました。臨時休校を経て学校が再開した後、新型コロナウイルス感染症への対策とともに、10月の修学旅行実施に向けて準備を進めてきましたが、現在も新型コロナウイルスの感染が収束していない状況です。旅行会社とも情報交換を行い、交通手段や東北地方等への行き先の変更、一泊二日への旅行期間の短縮等も視野に含め、現状を注視しながら、生徒の健康・安全面を第一に考え、修学旅行の実施について検討してきました。

《修学旅行中止の理由》

- 群馬県の警戒度が2へ引き上げられ、県外への移動にも注意や自粛が求められる中、東京を經由して関西方面への集団による修学旅行を実施することは、生徒の健康・安全を守る上で危険な面が大きいと判断しました。また、この状況において修学旅行を実施したとしても、生徒や保護者の皆様の不安も大きいのではないかと考えました。
- この状況においては、修学旅行の目標である「班別活動を通して、自分たちで考え、仲間と協力し、社会のルールやマナーを守りながら、伝統文化について学び、思い出づくりを行う」ことを達成することは、困難であると判断しました。
- 「バスの中でもマスクを着用して会話もできるだけ控える」ということが求められる現状において、長時間のバスの移動が必要となる東北地方等への行き先変更は、たとえ一泊二日に期間を短縮したとしても生徒への負担が大きく、現状では感染リスクを冒してまで行くだけの修学旅行の内容の充実は難しいと考えました。また、今後の進路指導等を考慮した場合、再延期は厳しいと考えました。

《今後の学年の取組》

- 新型コロナウイルス感染症による自粛生活の中で、様々なことを諦めなければならなくなった生徒の心をサポートしていくとともに、この体験を生徒の生涯における貴重な学びに繋がられるような指導の工夫を行っていきます。
- 修学旅行による生徒の資質の向上や、友達と協力する体験、中学校生活における励みや思い出づくり等を代替し補えるような学習活動を今後工夫していきます。

《その他》

- 8月26日(水)18:30に、PTA会長、3年PTA実行委員の方々からご意見をおうかがいする場をもたせていただきました。
- 9月2日(水)13:40から予定していた、修学旅行についての保護者説明会は中止とさせていただきますが、修学旅行中止についての説明の場は設定させていただきます。予定していた時間にご来校いただければ、さらに詳細な説明や質疑応答に対応させていただきます。

問い合わせ
館林市立第三中学校
教頭 笠原 壯一
電話 72-4061